認定シンボル
（認定番号）
ASNITE ****

見本

校　正　証　明　書

XX-XXXX
ASNITE **** MRA/IAJapan
YY-MM-DD

（校正ラベル）

依　頼　者　名	**********
住　　　　所	********************
品　　　　名	サウンドレベルメータ
型　　　　名	**-****
製　造　番　号	********
製　造　者　名	株式会社小野測器
校　正　方　法	IEC 61672-3:2013 に準拠した校正
校正実施場所	栃木県宇都宮市西川田南二丁目４番１３号 株式会社小野測器　宇都宮テクニカル&プロダクトセンター
校　正　条　件	次頁以降のとおり
校　正　結　果	次頁以降のとおり
受付年月日	**** 年 ** 月 ** 日
校正年月日	**** 年 ** 月 ** 日

以上に相違ないことを証明する

**** 年 ** 月 ** 日

栃木県宇都宮市西川田南二丁目４番１３号
株式会社小野測器
品質保証ブロック　品質管理グループ
発行責任者　　＊＊＊＊＊　＊＊＊＊＊

社印

署　名

・この証明書は、国際単位系(SI)（又は国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。
　発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
・当社は、ISO/IEC 17025:2017 に適合しています。
・この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPAC（アジア太平洋認定協力機構）のMRA（相互承認）に
　加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。
　この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

ONO SOKKI

見本

校正結果に関する情報

・試験に提出されたサウンドレベルメータは、試験が実施された環境条件の下で、IEC 61672-3:2013（JIS C 1509-3:2019）のクラス１の定期試験に合格した。ただし、サウンドレベルメータのこの形式が、IEC 61672-1:2013（JIS C 1509-1:2017）の仕様に完全に適合していることについては、次の理由によって言及することも判定することもできない。

1）独立した試験機関の実施した IEC 61672-2:2013（JIS C 1509-2:2018）に従って型式評価試験によって証明書が公にされていないか、又は取扱説明書に周波数重み付けの音響試験のための補正値が提供されていない。

2）IEC 61672-3:2013（JIS C 1509-3:2019）の定期試験は、IEC 61672-1:2013（JIS C 1509-1:2017）に規定する性能の一部について実施されただけである。

サウンドレベルメータに関する情報

・サウンドレベルメータのクラス　：　クラス１
・ソフトウェアのバージョン　：　********
・取扱説明書の文書番号及び版　：　********
・銘板に表示された規格番号　：　********
・校正点検周波数　：　1000 Hz
・基準音圧レベル　：　114.0 dB
・基準レベルレンジ　：　50 – 120 dB
・音響校正器による調整前の指示値　：　114.0 dB　※
・音響校正器による調整後の指示値　：　114.0 dB　※

※音響校正器の校正値を考慮した値である。

・サウンドレベルメータの構成

延長ケーブル　：　使用なし
ウインドスクリーン　：　使用なし

名称	型式	製造番号	製造者
マイクロホン	**-****	*********	株式会社小野測器
プリアンプ	**-****	*********	株式会社小野測器

音響校正器に関する情報

・型式　：　SC-****
・本体に表示された規格番号　：　*********
・製造番号　：　*********
・製造者名　：　株式会社小野測器
・アダプタの形式　：　*********
・校正証明書　：　**-****

ONO SOKKI

見本

校正に用いた標準器等

名称	型式	製造番号	製造者
標準マイクロホン	4180	*********	Brüel & Kjær
*****	****	*********	*****
*****	****	*********	*****
*****	****	*********	*****
*****	****	*********	*****

校正時の環境条件

1）精密計測室

温度	:	23 ℃ ± 2 ℃
相対湿度	:	50 % ± 20 %
静圧	:	100.0 kPa ± 3.0 kPa

2）騒音計電気校正エリア

温度	:	23 ℃ ± 2 ℃
相対湿度	:	50 % ± 20 %
静圧	:	100.0 kPa ± 3.0 kPa

校正結果の適合性

校正項目	結果
1. 自己雑音(*)	—
2. 周波数重み付け特性の音響信号による試験	適合
3. 周波数重み付け特性の電気信号による試験	適合
4. 1 kHz での周波数重み付け特性及び時間重み付け特性	適合
5. 連続動作時の安定性	適合
6. 基準レベルレンジにおけるレベル直線性	適合
7. レベルレンジ切換器を含むレベル直線性	適合
8. トーンバースト応答	適合
9. Ｃ特性ピークサウンドレベル	適合
10. 過負荷指示	適合
11. 高レベル入力に対する安定性	適合

注(*)：IEC 61672-3:2013（JIS C 1509-3:2019）定期試験では測定値は情報として提供し、適合性の評価及び校正の不確かさの報告は行いません。ASNITEの認定範囲外です。

見本

適合性に対する判定方法

・ IEC 61672-3:2013（JIS C 1509-3:2019）定期試験への適合性は、校正結果が規格の受容限度値を超えず、且つ、校正の不確かさが、規格に 95 % の包含確率で規定する不確かさの最大許容値を超えない場合に適合と判定します。

校正の不確かさ

・ 校正の不確かさは、包含係数 k=2 とした拡張不確かさであり、約95 %の信頼の水準を持つと推定される区間を与える。

校正の不確かさの最大許容値

・ IEC 61672-3:2013（JIS C 1509-3:2019）で規定する、それぞれの校正項目に対する測定の不確かさの最大許容値は、以下のとおりである。

周波数重み付け特性の音響信号／電気信号による試験		
10 Hz 以上、4 kHz 以下	:	0.60 dB
4 kHz 超え、10 kHz 以下	:	0.70 dB
10 kHz 超え、20 kHz 以下	:	1.00 dB
1 kHz での周波数重み付け特性及び時間重み付け特性	:	0.20 dB
連続動作時の安定性	:	0.10 dB
レベル直線性	:	0.30 dB
1 dB ～ 10 dB のレベル変化	:	0.25 dB
トーンバースト応答	:	0.30 dB
Ｃ特性ピークサウンドレベル	:	0.35 dB
過負荷指示	:	0.25 dB
高レベル入力に対する安定性	:	0.10 dB

見本

校 正 結 果

1.　自己雑音

・サウンドレベルメータの設定

時間重み付け特性　：　S

レベルレンジ　：　10 dB － 80 dB

測定条件	周波数重み付け特性	自己雑音レベル (dB)
マイクロホン装着時	A	0.0
電気信号入力装置置換時	A	0.0
	C	0.0
	Z	0.0

・IEC 61672-3:2013（JIS C 1509-3:2019）定期試験では自己雑音の測定値は情報として提供し、校正の不確かさの報告を行いません。

2.　周波数重み付け特性の音響信号による試験

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　C

時間重み付け特性　：　F

レベルレンジ　：　50 dB － 120 dB

・校正条件

音の入射方向　：　基準方向

校正音圧レベル　：　75.0 dB

周波数 (Hz)	偏差 (dB)	受容限度値 (dB)	校正の不確かさ (dB)
125	0.0	± 1.0	0.3
1 000	0.0	± 0.7	0.3
8 000	0.0	＋1.5 / －2.5	0.6

見本

3.　周波数重み付け特性の電気信号による試験

・ サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　A
時間重み付け特性　：　F
レベルレンジ　：　50 dB − 120 dB

周波数 (Hz)	入力信号レベル (dB)	指示値 (dB)	マイクロホンの周波数特性 (dB)	筐体からの音響反射 (dB)	ウインドスクリーンの周波数特性 (dB)	相対周波数重み付け特性 (dB)	受容限度値 (dB)	校正の不確かさ (dB)
63	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
125	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
250	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
500	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
1 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 0.7	0.3
2 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
4 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
8 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	+1.5 /−2.5	0.4
16 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	+2.5/ −16.0	0.5

・ サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　C
時間重み付け特性　：　F
レベルレンジ　：　50 dB − 120 dB

周波数 (Hz)	入力信号レベル (dB)	指示値 (dB)	マイクロホンの周波数特性 (dB)	筐体からの音響反射 (dB)	ウインドスクリーンの周波数特性 (dB)	相対周波数重み付け特性 (dB)	受容限度値 (dB)	校正の不確かさ (dB)
63	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
125	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
250	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
500	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
1 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 0.7	0.3
2 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
4 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	± 1.0	0.3
8 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	+1.5/ −2.5	0.4
16 000	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	＊.＊	+2.5/ −16.0	0.5

見本

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　Z
時間重み付け特性　：　F
レベルレンジ　：　50 dB － 120 dB

周波数 (Hz)	入力信号レベル (dB)	指示値 (dB)	マイクロホンの周波数特性 (dB)	筐体からの音響反射 (dB)	ウインドスクリーンの周波数特性 (dB)	相対周波数重み付け特性 (dB)	受容限度値 (dB)	校正の不確かさ (dB)
63	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 1.0	0.3
125	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 1.0	0.3
250	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 1.0	0.3
500	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 1.0	0.3
1 000	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 0.7	0.3
2 000	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 1.0	0.3
4 000	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	± 1.0	0.3
8 000	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	+1.5/ −2.5	0.4
16 000	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	*.*	+2.5/ −16.0	0.5

4.　1 kHz での周波数重み付け特性及び時間重み付け特性

・サウンドレベルメータの設定

レベルレンジ　：　50 dB － 120 dB

・校正条件

電気入力信号の周波数　：　1000 Hz
基準音圧レベル　：　114.0 dB

サウンドレベルの表示の設定	周波数重み付け特性Ａでの指示値からの偏差		校正の不確かさ
	周波数重み付け特性Ｃ (dB)	周波数重み付け特性Ｚ (dB)	(dB)
時間重み付け特性Ｆ	0.0	0.0	0.1

サウンドレベルの表示の設定	時間重み付け特性Ｆでの指示値からの偏差		校正の不確かさ
	時間重み付け特性Ｓ (dB)	時間平均サウンドレベル (dB)	(dB)
周波数重み付け特性Ａ	0.0	0.0	0.1

見本

5.　連続動作時の安定性

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性	:	A
時間重み付け特性	:	F
レベルレンジ	:	50 dB － 120 dB

・校正条件

電気入力信号の周波数	:	1000 Hz
基準音圧レベル	:	114.0 dB
連続動作時間	:	30分

動作開始時と終了時の指示値の差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
0.0	0.1

6.　基準レベルレンジにおけるレベル直線性

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性	:	A
時間重み付け特性	:	F
レベルレンジ	:	50 dB － 120 dB

・校正条件

電気入力信号の周波数	:	8000 Hz
基準音圧レベル	:	114.0 dB

入力信号レベル (dB)	偏差 (dB)	校正の不確かさ (dB)	入力信号レベル (dB)	偏差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
128.0	0.0	0.2	89.0	0.0	0.2
127.0	0.0	0.2	84.0	0.0	0.2
126.0	0.0	0.2	79.0	0.0	0.2
125.0	0.0	0.2	74.0	0.0	0.2
124.0	0.0	0.2	69.0	0.0	0.2
123.0	0.0	0.2	64.0	0.0	0.2
122.0	0.0	0.2	59.0	0.0	0.2
119.0	0.0	0.2	55.0	0.0	0.2
114.0	0.0	0.2	54.0	0.0	0.2
109.0	0.0	0.2	53.0	0.0	0.2
104.0	0.0	0.2	52.0	0.0	0.2
99.0	0.0	0.2	51.0	0.0	0.2
94.0	0.0	0.2	50.0	0.0	0.2

見本

7.　レベルレンジ切換器を含むレベル直線性

・ サウンドレベルメータの設定

　周波数重み付け特性　：　A

　時間重み付け特性　：　F

・ 校正条件

　電気入力信号の周波数　：　1000 Hz

レベルレンジ (dB)	電気入力信号レベル (dB)	偏差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
20 - 130	基準音圧レベル（入力信号レベル一定）	0.0	0.2
60 - 130		0.0	0.2
50 - 120		0.0	0.2
40 - 110		0.0	0.2
30 - 100		0.0	0.2
20 - 90		0.0	0.2
10 - 80		0.0	0.2
20 - 130	レベルレンジのアンダーレンジ指示値を最初に表示する信号レベルより5 dB 大きい信号レベル	0.0	0.2
60 - 130		0.0	0.2
50 - 120		0.0	0.2
40 - 110		0.0	0.2
30 - 100		0.0	0.2
20 - 90		0.0	0.2
10 - 80		0.0	0.2

見本

8.　トーンバースト応答

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　A

レベルレンジ　：　50 dB － 120 dB

・校正条件

電気入力信号の周波数　：　4000 Hz

基準音圧レベル　：　114.0 dB

サウンドレベルの表示の設定	トーンバースト継続時間 (ms)	基準トーンバースト応答に対するトーンバースト応答の測定値の偏差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
時間重み付け特性Ｆの最大値	200.00	0.0	0.1
	2.00	0.0	0.1
	0.25	0.0	0.1
時間重み付け特性Ｓの最大値	200.00	0.0	0.1
	2.00	0.0	0.1
音響暴露レベル	200.00	0.0	0.1
	2.00	0.0	0.1
	0.25	0.0	0.1

9.　Ｃ特性ピークサウンドレベル

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　C

レベルレンジ　：　60 dB － 130 dB

・校正条件

過負荷指示の有無　：　無

試験信号	電気入力信号の周波数 (Hz)	偏差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
１周期	8000	0.0	0.1
正に向かう半周期	500	0.0	0.1
負に向かう半周期	500	0.0	0.1

見本

10.　過負荷指示

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　Ａ

レベルレンジ　：　60 dB － 130 dB

・校正条件

電気入力信号の周波数　：　4000 Hz

正に向かう半周期信号と 負に向かう半周期信号との差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
0.0	0.2

・IEC 61672-1:2013 に規定のとおり、過負荷指示が保持されたことを確認した。

11.　高レベル入力に対する安定性

・サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性　：　Ａ

レベルレンジ　：　60 dB － 130 dB

・校正条件

電気入力信号の周波数　：　1000 Hz

周波数重み付け特性Ａの 開始時と終了時の指示値の差 (dB)	校正の不確かさ (dB)
0.0	0.1